

第18回全日本パラ空手道競技大会実施要項

公益財団法人 全日本空手道連盟

コロナ感染症対策のため、実施要項が変更になる場合は随時ご連絡いたします

1. 大会名 第18回全日本パラ空手道競技大会（旧大会名：全日本障がい者空手道競技大会）
2. 主催 公益財団法人 全日本空手道連盟
3. 後援 (予定) スポーツ庁、厚生労働省、（公財）日本スポーツ協会、
（公財）日本オリンピック委員会、（公財）日本武道館、日本武道協議会、
（公財）日本障がい者スポーツ協会、（公財）笹川スポーツ財団、読売新聞社、（公財）ブルーシー・アンド・グリーンランド財団、東京都、
（公財）東京都体育協会、月刊空手道マガジン J k F a n
4. 日時 令和4年6月4日（土）

選手・役員集合	8：30
審判会議	9：10
監督会議	9：30
開会式	10：00～10：30
基本錬成	10：30～11：00
競技開始	11：00～14：00
閉会式	14：10
5. 場所 東京武道館
〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-20-1
電話 03-5697-2111
6. 種目
 - (1) 形競技 男子・女子個人戦

クラス1	肢体不自由(上肢障がい)
クラス2	肢体不自由(上下肢・体幹障がい)
クラス3	車椅子
クラス4	視覚障がい
クラス5	聴覚障がい
クラス6	知的障がい
 - (2) 組手競技 男子・女子個人戦

クラス1	肢体不自由(上肢障がい)
クラス2	肢体不自由(上下肢・体幹障がい)
クラス3	車椅子
クラス4	視覚障がい
クラス5	聴覚障がい
クラス6	知的障がい

<注> 各種目のクラス分けについて（細かい区分については別紙1参照）

※申込者数によってクラス分けを調整する場合がある。

①障がい各クラスに分けた上で、障がい部位、障がいにより細分し、それぞれのクラスで男女別・年齢別に分けて実施する。

②年齢（4月1日現在）は次の区分に分けて競技するものとする。

A. 10～12歳 B. 13歳～15歳 C. 16歳～20歳

D. 21歳～39歳 E. 40歳～65歳 F. 65歳以上（形競技のみ）

③障がい複数あり、それぞれのクラスで出場が可能である場合でも、参加できるのは一つのみとする。複数のクラスにまたがった申し込みは認めない。

④申し込み後にクラスを変えての参加は認めない。

⑤組手競技のクラス6については、申込みがあっても障がいの程度により出場できない場合がある。

(3) 基本錬成

男子・女子 自由参加

7. 競技規定

(1) 競技は、(公財)全日本空手道連盟競技規定に準拠して行う。

(2) 形競技個人戦

ア. トーナメント方式で1名ずつ行う。

イ. 3位決定戦は行わない。

ウ. 勝敗は得点により決定する。

ただし、必要に応じ、審判員が協議して決定する場合もある。

エ. 形は自由選択とする。

また、各自の身体機能を考慮し、創意工夫により形の内容を適宜改変することを認める（必ずしも規定の形どおりでなくともよい）。

オ. 初戦から決勝まで同じ形を繰り返し演武できる。

(3) 組手競技個人戦

ア. トーナメント方式で行う。

イ. 3位決定戦は行わない。

ウ. 競技時間は2分間フルタイムとする。

エ. 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた時点又は競技終了時点で、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は先に得点（先取）した選手を勝ちとし、先取が無い場合は審判員5名の旗判定により勝者を決定する。

(4) 安全具

ア. 組手全種目の競技において、全空連検定拳サポーター、同メンホー（ミズノNo.6・7）、マウスシールド（メンホー口元に装着する）及びボディプロテクター、全空連またはWKF検定のインステップガード、シンガードを着装すること。また、男子選手（車椅子使用の競技を除く）は、ファウルカップを必ず装着すること。

イ. 安全具・帯（赤、青）は各自において用意し、安全具着装のない選手は参加できないので、充分注意すること。

(5) 服装

ア. 監督・コーチ等

①白の空手衣を着用すること。但し、介助者はこの限りでない。

②監督・コーチ・介助者は、IDカードを明示すること

（IDカードは、大会当日の監督会議又は選手受付時に交付する）。

③フェイスシールド（持参）、マスク着用

イ. 選手

- ①競技規定に沿った白の空手衣を着用すること。胸マークは自由とする。
- ②金属類のヘアバンド等の装着は認めない。
- ③形競技での補装具の装着を認める。
- ④組手競技での補装具は、事前にクラス別に安全を確認されたものについてのみ、その装着を認める。
- ⑤競技中以外はマスクを常時着用のこと。

ウ. 審判員

- ①全空連審判員規定の服装による。
- ②マスク(持参)、手袋(全空連用意)、フェイスシールド(全空連用意)

エ. 介助者

- ①フェイスシールド(持参)、マスク(持参)
- ②大会当日に入場口で付与されたIDカード、ビブスを着用。

※マスクは白・無地

8. 表彰

形・組手ベスト8以上進出選手を以下の通り表彰する。

- (1) 種目別、同一クラスごとに第1位、第2位、第3位(2名)、第5位(4名)の選手にメダルを授与する。
- (2) 表彰はクラスごとに競技終了後順次行う。(マスク着用)
- (3) 参加者全員に参加賞を授与する。

9. 審判団

- (1) 大会審判団は、(公財)全日本空手道連盟公認審判員から編成する。
- (2) 上記審判員は、全空連公認地区又は全国形・組手審判員の有資格者から選任するものとする。

10. 出場資格

(1) 選手

- ア. 令和4年4月1日現在、10歳以上の身体障がい者及び知的障がい者(平成24年4月1日以前に生まれた者)とする。
- イ. 身体障がい者は身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条の規程により、身体障害手帳の交付を受けた者。
- ウ. 知的障がい者は厚生事務次官(昭和48年9月27日厚生省児第156号)による療育手帳の交付を受けた者。
- エ. 各都道府県連盟が出場を認めた者であること。
- オ. (公財)全日本空手道連盟会員であること。
- カ. 「JKF会員マイページ」に登録をしていること。

(全空連の会員登録だけではJKF会員マイページ登録をしたことにはなりません)

※申請時に会員登録・JKF会員マイページ登録が完了していない場合は出場できない。
《マイページ登録問合せ先》

- ・全空連ホームページお問合せフォーム
- ・TEL:0120-15-6003(10時~16時 土日祝日も対応)

※精神障がい者(精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者)は参加対象から除く。

※令和4年4月1日現在で10歳未満の者はいかなる場合も出場を認めない。



全空連マイページQRコード

(2) 監督・コーチ (各1名)

ア. (公財)全日本空手道連盟会員であること。

イ. 公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上又は都道府県審判員(組手、形のどちらか又は両方)以上の資格を有する者。「JKF会員マイページ」に登録済のこと。

(3) 介助者 (選手1名に対し1名まで可)

選手の出場に際して、介助者を伴うことを認める。(資格は問わない)

監督・コーチを代行する介助者は、プロフィール用紙【別紙4】にチェックを入れること。

11. 出場申込み

(1) 同一者が、形と組手の両方の競技に参加することを認める。

(2) 下記提出書類を整え、連盟事務局宛に送付すること。

・選手プロフィール(別紙4)・出場誓約書(別紙3)

*介助者を伴う場合は、選手プロフィール(別紙4)の該当欄に必要事項を記載してください。

・身体障害者手帳もしくはカード様式、療育手帳(愛の手帳、愛護帳、みどりの手帳)の写し。

*顔写真、等級等の記載部分の写しを(別紙5)に貼付。

全面のり付けはせず【別紙5】のり付け位置のみにしてください。複数枚を貼る場合は上に重ねて貼ってください。5枚以上になる場合は用紙をコピーして使用してください。

身体障害者手帳もしくはカード様式、療育手帳(愛の手帳、愛護帳、みどりの手帳)の必要箇所

※カード様式の注意点



顔写真が表、等級等の記載部分が裏のカードの場合は両面のコピーをお送りください。

※手帳の注意点



※療育手帳の注意点



顔写真、等級等の記載部分が複数ページの場合は全てのページのコピーをお送りください。

顔写真、等級等の記載部分が異なるページの場合は両方のコピーをお送りください。

【宛先】

〒651-0056 神戸市中央区熊内町 5-9-19 K I C内

兵庫県空手道連盟 事務局宛

12. 申込み期限 令和4年4月5日(火) 必着 締切り日厳守

13. 健康・安全管理

- (1) 大会期間中の傷害保険は、主催者側が参加選手全員に主催者負担で加入手続きをする。
- (2) 出場に際しては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全に充分留意すること。
- (3) 大会会場においては、応急措置を行うが、症状により救急病院での診察治療も必要となることも考慮し、選手は健康保険証、身体障害者手帳及び療育手帳等(愛の手帳、愛護帳、みどりの手帳)、治療に要するものを必ず携行すること。
- (4) 大会当日に館内に入場する者は、マスク着用、連絡先等確認表&健康チェックシートを提出すること。なお玄関入口で検温を行い37.5℃以上の方は入館できない。

14. 宿泊等について

- (1) 交通費、宿泊費は自己負担とする。
- (2) 全空連では宿泊等の斡旋は行わない。

15. その他

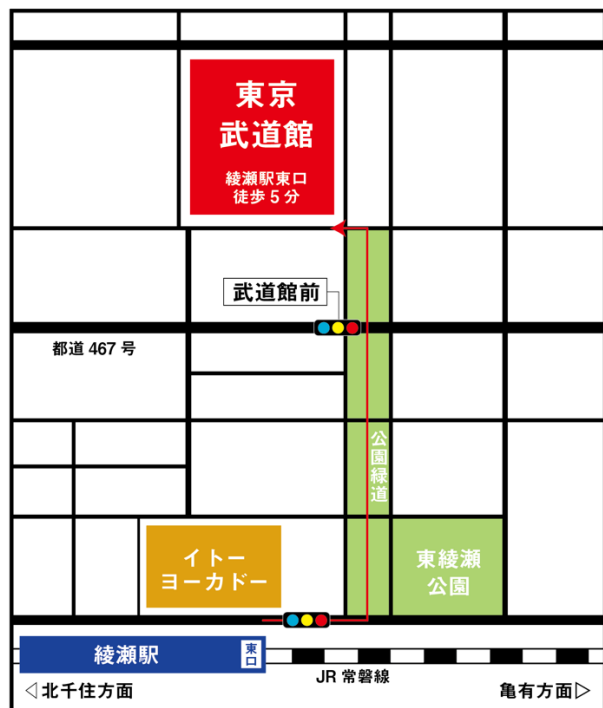
- (1) ゼッケンは全空連で作成し、各都道府県連盟宛に5月下旬までに送付する。ゼッケンと兵庫の胸マークは、兵空連事務局より各選手に配布する。
- (2) 選手は開始式、表彰式、閉会には必ず参加すること
- (3) 各クラスを等級により細分化しないので、公平性を担保するために申し合わせ事項を定めることができる。
- (4) 大会に参加する選手、監督、コーチは、操作マニュアル【-大会管理-会員向け】冊子を確認し、4月9日以降に必ずマイページの大会エントリー承諾画面から手続きを行ってください。

申し合わせ事項1

クラス4に出場する選手はアイマスク(全空連が用意)の着用を義務付ける。

※その他の申し合わせ事項は順次お知らせする。

東京武道館 来館の注意点



※できる限り公共交通機関での来場をお願いします。

○電車をご利用の場合

JR山手線・京浜東北線「西日暮里」駅乗換え

東京メトロ千代田線「綾瀬」駅東口下車徒歩5分（東綾瀬公園内をお通りください。）

○車をご利用の場合

※東京武道館周辺道路、私有地は駐車禁止です。

1. 首都高速6号三郷線、加平ICから環七通りを東進、加平二丁目の交差点を右折して南進し、武道館北口交差点を左折200m(大型バスは不可)
2. 首都高速中央環状線、千住新橋ICから国道4号へ、梅島陸橋を右折、環七を東進、以下、1と同様(大型バスは不可)
3. **大型バスの駐車及び武道館周辺での乗降はできません。**

○歩行のマナー、以下の行為はおやめください。

- ・マンションなどの住宅敷地や駐車場への立ち入り
- ・集団で横に広がっての歩行
- ・騒音（大声での会話・指示など）
- ・道路などへのゴミ捨て
- ・道路などでの喫煙・ポイ捨て

<綾瀬駅改札口付近での待合せはご遠慮ください。>

【障害区分】

- クラス1 肢体不自由（上肢障がい）
- クラス2 肢体不自由（上下肢・体幹障がい）
- クラス3 車椅子
- クラス4 視覚障がい
- クラス5 聴覚障がい
- クラス6 知的障がい

【年齢区分】

- A. 10～12歳
- B. 13歳～15歳
- C. 16歳～20歳
- D. 21歳～39歳
- E. 40歳～65歳
- F. 65歳以上（形競技のみ）

※年齢は2022年4月1日現在

※形競技については出場年齢区分の上限を設けない。

※競技区分表については監督・コーチ・介護者のみ参照。

※申込者数によって年齢区分を調整する場合があります。